

恋しくば訪ね来てみよ 和泉なる

しのだ
信太の森の うらみ葛の葉

あしやどうまんおおうちかがみ
浄瑠璃 芦屋道満大内鑑 より



陰陽博士 安倍晴明の出生の物語が浄瑠璃にある。晴明は天文博士でもあり、数学を駆使し暦を編む。京都に旅した私は、偶然に誘われて晴明神社を参拝し、その御利益で三種の神器などの「鏡」が天文観測と測地の機械であったと明かされた。無論、銅鏡は超古代のそのレプリカである。卑弥呼の時代、支那ではそれに似せた観測器が発明されている。

令和五年十月二十五日 大中臣正比呂 記